

科目名	幼児と言葉		担当教員	中村 哲也	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	ED1CSR102
期待される学修成果					
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	領域「言葉」のねらい及び内容を踏まえ、子どもの言葉の発達のプロセスを理解する。子どもの言葉を育む児童文化財について学び、それらを保育計画に活用する視点を持つ。乳幼児期の言葉の発達を踏まえた保育内容を理解し、環境構成及び指導法について学ぶ。				
授業の概要	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「言葉」に示されたねらい及び内容を踏まえ、子どもの豊かな言葉を育むための環境と保育者の役割について学ぶ。また、乳幼児期の言葉の発達を理解し、言葉を育む児童文化財や言葉に関する保育内容を学ぶ。それらを踏まえ、具体的な指導場面を想定した保育のあり方を考える。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション、子どもと言葉
第2回	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「言葉」
第3回	保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「言葉」
第4回	子どもの発達とことばはどのように関連しているか
第5回	子どものことばの発達
第6回	ことばの発達をうながす援助をどう考えるか
第7回	保育者は子どもにどう働きかけていくか
第8回	子どものことばを育む環境とことばの文化財
第9回	絵本にはどのようなものがあるか
第10回	子どものことばの発達と絵本 1 赤ちゃん絵本
第11回	子どものことばの発達と絵本 2 絵本
第12回	絵本の読み聞かせをやってみよう
第13回	紙芝居を演じてみよう
第14回	ことばで遊ぶ
第15回	3歳児以上の文字環境と小学校「国語」への連携、まとめ

事前学修	自分の幼児期を振り返り、まわりの大人とどうかかわり、どんな遊びや言葉あそびをしたかをまとめること。幼稚園指導要領や保育園保育指針に目を通しておくこと。
事後学修	授業全体を復習し、今後、実践現場に出ていくことを想定し、深めていきたい論点等をしっかりまとめること。
フィードバックの方法	毎回の授業のまとめは、個別にコメントするとともに、全体に総合的な評価を伝える。

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
レポート	50%	子どもの言葉の発達と成長への知識・関心を評価する
上記以外の試験・平常点評価	50%	関心・意欲・態度、課題への取り組みなど、学びへの姿勢を評価する。
定期試験	0%	

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
使用しない	なし	なし	なし	なし
参考資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・岡本夏木『ことばと発達』岩波新書</li><li>・守屋慶子『子どもとファンタジー』新曜社</li><li>・幼稚園教育要領（平成29年3月）文部科学省</li><li>・保育所保育指針（平成29年3月）厚生労働省</li><li>・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月）内閣府・文部科学省・厚生労働省</li><li>・小学校学習指導要領（平成29年）文部科学省</li></ul>			